

◆点検シート(新基準)

評価基準	1 理念・目的	点検単位	文学部 国文学科
点検・評価年度	2018年度(対象:2017年度)		

① 大学の理念・目的を適切に設定しているか。また、それを踏まえ、学部・研究科の目的を適切に設定しているか。

<p>【現状説明】必ず記入…設定した目標の進捗状況・評価の視点を含め、400字～500字(10行以内)で現状説明を記入。</p> <p>・国文学科の理念・目的は、「京都女子大学人材養成・教育研究上の目的に関する規程」別表1「教育目標」に、文学部「人材養成に関する目的」のもと、国文学と国語学とについて、体系的かつ実証的な学びを提供します。国文学・国語学に関する専門的知識・理解を深め、4年間の学びを通して、情緒豊かで高雅な、凜とした品位ある女性人材の養成を目指します。卒業後には、教育や学習支援業、報道など、国文学・国語学についての深い素養と高度な日本語運用能力とを活かした分野で活躍できるよう期待しています。」と明文化されている。</p> <p>・平成29年4月1日試行の学校教育法施行規則により3つの方針の公表が義務付けられることをふまえ、本学科においても平成28(2016)年度中に3つの方針を含む現行の「人材養成・教育研究上の目的に関する規程」の見直しをおこなったところである(平成29年4月1日改正)。</p> <p>・具体的な構成としては、本学科が提供する学びとそれによって養成する人材を社会との接続も踏まえて示し、また、大学の教育目標から連なる学部の教育目標のもとで学科の教育目標を展開する形としており、大学―学部―学科の連関性の観点からも、当該基準を満たしている。</p> <p>以上により、現時点での変更の必要性は生じていない。</p>
<p>【点検・評価】必ず記入…効果が上がっている事項または、改善すべき事項のうち、どちらか記入(両方記入可)。</p> <p>【成果および伸長方策】…現状説明の中から効果が上がっている事項を箇条書きで記入。</p> <p>特筆すべき事項なし。</p>
<p>【課題および改善方策】…現状説明の中から改善すべき事項を箇条書きで記入。</p> <p>特筆すべき事項なし。</p>
<p>【将来に向けた発展方策】…実行可能な方策が計画されている場合のみ具体的に記入。</p> <p>【将来に向けた発展方策(伸長方策)】…点検・評価(効果が上がっている事項)に関連させ、今後の伸長方策を記入。</p>
<p>【将来に向けた発展方策(改善方策)】…点検・評価(改善すべき事項)に関連させ、今後の改善方策を記入。</p>

② 大学の理念・目的及び学部・研究科等の目的を学則又はこれに準ずる規則等に適切に明示し、教職員及び学生に周知し、社会に対して公表しているか。

<p>【現状説明】必ず記入…設定した目標の進捗状況・評価の視点を含め、400字～500字(10行以内)で現状説明を記入。</p> <p>・国文学科の理念・目的は、「学園要覧」「大学ホームページ」等において教職員または学生のみならず広く社会に公表されており、オープンキャンパスや高校訪問、メディアを通じた広報活動においても積極的にその伝達・理解を図っている。また、大学構成員、特に学科に所属する学生に対しては、毎年度更新・編集されている「学習の手引」や履修ガイダンスやオリエンテーションを通じて、本学科の理念・目的、教育課程、育成する人材像などについての説明を行っている。</p>
<p>【点検・評価】必ず記入…効果が上がっている事項または、改善すべき事項のうち、どちらか記入(両方記入可)。</p> <p>【成果および伸長方策】…現状説明の中から効果が上がっている事項を箇条書きで記入。</p> <p>・理念・目的が「人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的に関する規程」として明文化され、広報媒体、「学習の手引」等の学内冊子に統一的に掲載されている。</p>
<p>【課題および改善方策】…現状説明の中から改善すべき事項を箇条書きで記入。</p> <p>・学科の教育目標や人材養成目標等について、広報媒体や学習の手引に掲載することはもちろん、ガイダンス等において、これまで以上に留意を促し、わかりやすく説明するよう工夫し、学科の理念・目的の認知率の向上を目指す。</p> <p>・既に入学している学生にとっては、理念・目的の文言の周知よりは、当面の実際の・具体的課題への対処の仕方が問題となるので、普段の授業の現場において、教員各個人が「国文学科学位の授与方針」に示された6つの能力を養うことを意識しつつ教授・指導を行うこととなる。</p>
<p>【将来に向けた発展方策】…実行可能な方策が計画されている場合のみ具体的に記入。</p> <p>【将来に向けた発展方策(伸長方策)】…点検・評価(効果が上がっている事項)に関連させ、今後の伸長方策を記入。</p>
<p>【将来に向けた発展方策(改善方策)】…点検・評価(改善すべき事項)に関連させ、今後の改善方策を記入。</p>

③ 大学の理念・目的、各学部・研究科における目的等を実現していくため、大学として将来を見据えた計画その他諸施策を設定しているか。

【現状説明】必ず記入…設定した目標の進捗状況・評価の視点を含め、400字～500字(10行以内)で現状説明を記入。 個別の視点での入力不要
【点検・評価】必ず記入…効果が上がっている事項または、改善すべき事項のうち、どちらか記入(両方記入可)。
【成果および伸長方策】…現状説明の中から効果が上がっている事項を箇条書きで記入。
【課題および改善方策】…現状説明の中から改善すべき事項を箇条書きで記入。
【将来に向けた発展方策】…実行可能な方策が計画されている場合のみ具体的に記入。
【将来に向けた発展方策(伸長方策)】…点検・評価(効果が上がっている事項)に関連させ、今後の伸長方策を記入。
【将来に向けた発展方策(改善方策)】…点検・評価(改善すべき事項)に関連させ、今後の改善方策を記入。

内部評価委員会からの評価結果(内部評価結果レポート)

一般的なコメント(総評) 【課題および改善方策】 にも見られるように、概ね問題点が認識されて、改善に向けた対応が行われているものと評価できます。
改善勧告コメント(点検単位からの意見を求めるもの)

内部評価結果レポートの改善勧告コメントに対する点検単位の意見

意見

◆点検シート(新基準)

評価基準	4 教育課程・学習成果	点検単位	文学部 国文学科
点検・評価年度	2018年度(対象:2017年度)		

① 授与する学位ごとに、学位授与方針を定め、公表しているか。

【現状説明】必ず記入…設定した目標の進捗状況・評価の視点を含め、400字～500字(10行以内)で現状説明を記入。

「京都女子大学人材養成・教育研究上の目的に関する規程」別表1「教育目標」を定め、これに基づき別表2「学位授与の方針」を定めている。「学位授与の方針」には課程修了にあたって修得しておくべき能力を[知識・理解][汎用的技能][思考・判断][対話・相互理解][社会性・自律性][自立性]の観点から具体的に明示している。平成28(2016)年度に、3つの方針の公表の義務化を見据えて、既存の方針の見直しをおこなったところである(平成29年4月1日改正)。「学位授与の方針」については、大学ホームページや「学習の手引」においても明示している。

【点検・評価】必ず記入…効果が上がっている事項または、改善すべき事項のうち、どちらか記入(両方記入可)。

【成果および伸長方策】…現状説明の中から効果が上がっている事項を箇条書きで記入。

・特筆すべき事項なし。

【課題および改善方策】…現状説明の中から改善すべき事項を箇条書きで記入。

特筆すべき事項なし。

【将来に向けた発展方策】…実行可能な方策が計画されている場合のみ具体的に記入。

【将来に向けた発展方策(伸長方策)】…点検・評価(効果が上がっている事項)に関連させ、今後の伸長方策を記入。

【将来に向けた発展方策(改善方策)】…点検・評価(改善すべき事項)に関連させ、今後の改善方策を記入。

② 授与する学位ごとに、教育課程の編成・実施方針を定め、公表しているか。

【現状説明】必ず記入…設定した目標の進捗状況・評価の視点を含め、400字～500字(10行以内)で現状説明を記入。

「学位授与の方針」に掲げた能力を修得させるため、「京都女子大学人材養成・教育研究上の目的に関する規程」別表3「教育課程編成・実施の方針」を定めている。「教育課程編成・実施の方針」には「学位授与の方針」との関連性を意識した回生ごとの教育課程の編成内容を示している。平成28(2016)年度に、3つの方針の公表の義務化をみすえて既存の方針の見直しをおこなったところである(平成29年4月1日改正)。

「教育課程編成・実施の方針」については、大学ホームページや「学習の手引」においても明示している。

【点検・評価】必ず記入…効果が上がっている事項または、改善すべき事項のうち、どちらか記入(両方記入可)。

【成果および伸長方策】…現状説明の中から効果が上がっている事項を箇条書きで記入。

特筆すべき事項なし。

【課題および改善方策】…現状説明の中から改善すべき事項を箇条書きで記入。

特筆すべき事項なし。

【将来に向けた発展方策】…実行可能な方策が計画されている場合のみ具体的に記入。

【将来に向けた発展方策(伸長方策)】…点検・評価(効果が上がっている事項)に関連させ、今後の伸長方策を記入。

【将来に向けた発展方策(改善方策)】…点検・評価(改善すべき事項)に関連させ、今後の改善方策を記入。

③ 教育課程の編成・実施方針に基づき、各学位課程にふさわしい授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成している。

【現状説明】必ず記入…設定した目標の進捗状況・評価の視点を含め、400字～500字(10行以内)で現状説明を記入。

・国文学科においては、「教育課程編成・実施の方針」に基づき、1年次の国文学・国語学に関する基礎的知識の獲得から、4年次における卒業論文作成へと順を追って専門性を高めることができるよう、各科目の連携・関連を図り、体系的な教育課程を編成し実施している。1年次には古典文法の学び直しから始まり(入門演習)、国文学・国語学に関する基礎知識を身に付け(国文学基礎講座・国語史・国文学史・講読など)、2年次にはその発展的授業により多様な知識を深め方法論を学ぶとともに、基礎演習により、調査能力を身に付け、また、京都の歴史・風土に実地に触れ自らの立ち位置を確認します。3年次には、特殊講義などで専門的知識をさらに高めると同時に、演習科目を国文学の各時代・国語学・漢文学の各分野から二つを選択し、主体的調査・批判能力、合理的思考力を養います。4年次では卒業論文を作成し、一段と高い専門的知識と技能を身に付け、課題発見・課題解決能力を養います。その結果、生涯にわたって学び続ける能力の確立を目指している。国語史・国文学史・講読・特殊講義などが相互の関連を持ちながら体系的に編成されており、上代国文学から近代国文学、国語学、漢文学、民俗学という幅広い分野の講義科目が開設されている。さらに、演習科目も入門演習から基礎演習・演習Ⅰ・演習Ⅱと4年間続けて履修することにより、アクティブラーニング・少人数教育が実施されている。また、国文学科の教育目標と、設置されている授業科目との関係については、学生に配付されている「学習の手引」の中で、カリキュラムマップや履修モデル等を通じて十分に説明されている。

【点検・評価】必ず記入…効果が上がっている事項または、改善すべき事項のうち、どちらか記入(両方記入可)。
【成果および伸長方策】…現状説明の中から効果が上がっている事項を箇条書きで記入。 特筆すべき事項なし。
【課題および改善方策】…現状説明の中から改善すべき事項を箇条書きで記入。 特筆すべき事項なし。
【将来に向けた発展方策】…実行可能な方策が計画されている場合のみ具体的に記入。
【将来に向けた発展方策(伸長方策)】…点検・評価(効果が上がっている事項)に関連させ、今後の伸長方策を記入。
【将来に向けた発展方策(改善方策)】…点検・評価(改善すべき事項)に関連させ、今後の改善方策を記入。

④ 学生の学習を活性化し、効果的に教育を行うための様々な措置を講じているか。

【現状説明】必ず記入…設定した目標の進捗状況・評価の視点を含め、400字～500字(10行以内)で現状説明を記入。 <ul style="list-style-type: none"> 国文学科では、教育課程の編成・実施方針に基づき、体系的な教育課程を編成し実施している。 1年次では、国語学・国文学全般にわたる基礎的な科目を学ぶ。国文学基礎講座では国文学研究の基礎的事柄を学ぶと共に国文学科の文学担当教員のリーク講義が行われ、早い時期に国文学研究の各分野全体にわたっての今後4年間の学びのガイダンスの役割を果たしている。また、入門演習では、古典文法の学び直しから始め、今後の学習がより確かなものとなるように配慮している。 2年次においては、国文学・国語学の発展的講義が開かれている。また、基礎演習は各セメスターで1つずつ、異なる2つの演習に参加し、実際に自らが調査・発表することで自主的学習能力の向上を図っている。 3年次の演習Ⅰは一年間2つの演習を履修することで、専門的・多角的視野の育成を図っており、課題発見能力・課題解決能力の獲得を目指している。 4年次ではそれまでの学習を総合して、指導教員の個別指導を受けつつ、卒業研究の完成を目指す体系的な編成となっている。 全学年において少人数演習を必修科目として配置し、少人数教育の充実を図っている。
【点検・評価】必ず記入…効果が上がっている事項または、改善すべき事項のうち、どちらか記入(両方記入可)。
【成果および伸長方策】…現状説明の中から効果が上がっている事項を箇条書きで記入。 <ul style="list-style-type: none"> 現状説明に記載の通り、教育課程の編成・実施方針に基づいた学士課程に相応しい教育内容を提供している。 1年次の導入科目である「入門演習」は、能力別クラス分けを行うことで、高校までの学習の確認と基礎的知識・技能の授与を効果的におこなっている。 2年次の「基礎演習」、3年次の「演習Ⅰ」は、希望する学生数が年度毎に変化するため、前年度からガイダンス・予備調査・希望調査を行い、その結果を学科会議で検討し、開講コマ数の変更も含めて、学生の希望を尊重する形で最善の調整を行っている。
【課題および改善方策】…現状説明の中から改善すべき事項を箇条書きで記入。 <ul style="list-style-type: none"> 2017年度学生生活実態調査結果によると、「少人数教育が充実している」の数値は43.9%であった。これは全学平均の51.8%からすれば低い数値であるが、これは教員一人あたりの在学学生数が他学部比に比して英文学科と並んで相当に多いことに由来するものである。 同調査によると、「アクティブラーニングによる授業が多い」の数値も29.4%と全学平均の36.4%に比して低いものとなっている。これは国文学研究自体が必ずしもディベートやグループワークを必要としないという学問の性質に拠るところが大きいと思われるが、導入として、また応用として、実地踏査や議論、あるいは創作体験などアクティブラーニングのさらなる充実を目指す。
【将来に向けた発展方策】…実行可能な方策が計画されている場合のみ具体的に記入。
【将来に向けた発展方策(伸長方策)】…点検・評価(効果が上がっている事項)に関連させ、今後の伸長方策を記入。
【将来に向けた発展方策(改善方策)】…点検・評価(改善すべき事項)に関連させ、今後の改善方策を記入。

⑤ 成績評価、単位認定及び学位授与を適切に行っているか。

【現状説明】必ず記入…設定した目標の進捗状況・評価の視点を含め、400字～500字(10行以内)で現状説明を記入。 <ul style="list-style-type: none"> シラバスにおいて「評価項目」「配分(%)」「評価の観点」等の評価基準を明らかにし、厳格な成績評価に努めている。2016年度学生生活実態調査結果においては「シラバス等で学習情報が十分に提供されている」の数値が50.0%と全学平均を若干上回っている。 成績評価の結果については、「平成28年度・平成29年度卒業生履修総括表(科目群別集計)」の国文学科専門科目に拠れば、全体として適切に評価が行われている。ただし、演習科目については、特にS評価の数値に差異が見られる(「履修総括表(全体)」)。これは、年度によりある程度の偏りが見られることは当然起こりうることはあるが、留意はしておくべきであろう。 単位認定については、教務課・教務委員会において確認・点検がなされ適切に行われている。また、学生による成績の問い合わせのシステムが調えられており、適切な対応がなされている。 履修要項第42条の2に定められる「GPAが一定基準を下回った場合には、教員の面談を受けなければならない」という規程に従い、成績不良者に対してはアドバイザーや指導教員が個別面談を行い、指導を出来る限りの細かな指導を行っている。 学位授与に関しても、特に卒業論文の評価に関しては明確な評価基準を定め厳密な評価がなされている。
--

【点検・評価】必ず記入…効果が上がっている事項または、改善すべき事項のうち、どちらか記入(両方記入可)。
【成果および伸長方策】…現状説明の中から効果が上がっている事項を箇条書きで記入。
【課題および改善方策】…現状説明の中から改善すべき事項を箇条書きで記入。
・演習科目の成績について、多少のばらつきが見られ、特にS評価の数値に差異が見られる問題について、学科会議において、到達目標と成績評価が適切に対応するよう、また、各科目の平均点が70点程度になることを目標とすることなどの申し合わせを行った。
【将来に向けた発展方策】…実行可能な方策が計画されている場合のみ具体的に記入。
【将来に向けた発展方策(伸長方策)】…点検・評価(効果が上がっている事項)に関連させ、今後の伸長方策を記入。
【将来に向けた発展方策(改善方策)】…点検・評価(改善すべき事項)に関連させ、今後の改善方策を記入。

⑥ 学位授与方針に明示した学生の学習成果を適切に把握及び評価しているか。

【現状説明】必ず記入…設定した目標の進捗状況・評価の視点を含め、400字～500字(10行以内)で現状説明を記入。
・国文学科の2017・2018年度卒業生の累積GPAは2.66・2.62であり、2014年度の2.43より上がっている。 ・卒業修了者数の割合は85.9%であり、充分高い水準を維持している。 ・教員免許取得者数は2017年度は146名であり、高い数値を維持している。 ・学習の集大成となる卒業論文の成果の把握と評価については、各ゼミで学生の調査・考察に基づく発表に教員が助言を加えながら綿密な指導を繰り返し、またアドバイザーの教員は懇切な「卒論執筆・提出要領」を作成し、学生全員に配布した上で口頭での説明会も実施し、学生の出席状況も厳密に確認している。そのようなきめ細かい指導を行った上で、卒論の判定は、学科で定めた統一の基準に従って行っており、口頭試問も主査と副査、二名の教員によって厳正に審査し、その結果を学科会議で報告・審議して成績決定を行っている。 ・成績評価の結果については、「平成28年度・平成29年度卒業生履修総括表(科目群別集計)」の国文学科専門科目に抛れば、全体として適切に評価が行われている。ただし、演習科目については、特にS評価の数値に差異が見られる(「履修総括表(全体)」)。これは、年度によりある程度の偏りが見られることは当然起こりうることはあるが、念のため学科会議で検討し対策を講じた。
【点検・評価】必ず記入…効果が上がっている事項または、改善すべき事項のうち、どちらか記入(両方記入可)。
【成果および伸長方策】…現状説明の中から効果が上がっている事項を箇条書きで記入。
特筆すべき事項なし。
【課題および改善方策】…現状説明の中から改善すべき事項を箇条書きで記入。
特筆すべき事項なし。
【将来に向けた発展方策】…実行可能な方策が計画されている場合のみ具体的に記入。
【将来に向けた発展方策(伸長方策)】…点検・評価(効果が上がっている事項)に関連させ、今後の伸長方策を記入。
【将来に向けた発展方策(改善方策)】…点検・評価(改善すべき事項)に関連させ、今後の改善方策を記入。

⑦ 教育課程及びその内容、方法の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。

【現状説明】必ず記入…設定した目標の進捗状況・評価の視点を含め、400字～500字(10行以内)で現状説明を記入。
・授業評価アンケート結果に対する「授業評価所見」を各教員は公表している。 ・2016年度学生生活実態調査結果の「社会に出て役立つ専門知識や技術を身に付けることに役立っている」の数値55.6%は直接的な実学ではない文学・語学研究の分野では十分な数値と思われ、2014年度からは3.1%増加している。 ・本学科の教育課程及びその内容、方法の適切性について、学科会議において、主としてカリキュラム編成、教育方法、成績評価の観点から、教育成果資料(授業評価アンケート、卒業時アンケート、学生生活実態調査)などを踏まえて検証した。 ・現行のカリキュラム編成が適切であることを確認したが、教育効果を一層上げるために更なる検討を積み重ねていくことで一致した。 ・教育方法については、平成30年4月に向けて入門演習のテキストをより充実した形にするなどの改善を加えた結果、適切性がより増したことを確認した。 ・特に、学生の調査・研究および表現・発表の能力の、より高いレベルでの育成を図るための方法を、種々の観点から検討していくこととした。
【点検・評価】必ず記入…効果が上がっている事項または、改善すべき事項のうち、どちらか記入(両方記入可)。
【成果および伸長方策】…現状説明の中から効果が上がっている事項を箇条書きで記入。
入門演習のテキストをより充実した形にするなどの改善を加えた。
【課題および改善方策】…現状説明の中から改善すべき事項を箇条書きで記入。

【将来に向けた発展方策】…実行可能な方策が計画されている場合のみ具体的に記入。

【将来に向けた発展方策(伸長方策)】…点検・評価(効果が上がっている事項)に関連させ、今後の伸長方策を記入。

【将来に向けた発展方策(改善方策)】…点検・評価(改善すべき事項)に関連させ、今後の改善方策を記入。

内部評価委員会からの評価結果(内部評価結果レポート)

一般的なコメント(総評)

「④学生の学習を活性化し、効果的に教育を行うための様々な措置を講じているか」及び「⑤成績評価、単位認定及び学位授与を適切に行っているか」に於ける【課題および改善方策】などにも見られるように改善に向けて適切な対応が示され、また目標達成のための施策が行われていると評価できます。

改善勧告コメント(点検単位からの意見を求めるもの)

内部評価結果レポートの改善勧告コメントに対する点検単位の意見

意見

◆点検シート(新基準)

評価基準	5 学生の受け入れ	点検単位	文学部 国文学科
点検・評価年度	2018年度(対象:2017年度)		

① 学生の受け入れ方針を定め、公表しているか。

【現状説明】必ず記入…設定した目標の進捗状況・評価の視点を含め、400字～500字(10行以内)で現状説明を記入。

・「京都女子大学人材養成・教育研究上の目的に関する規程」別表4「入学者受け入れの方針」において、求める学生像や収録しておくべき知識を明示し、その内容は大学ホームページや募集要項で広く社会に公開されている。それらにおいて具体的には、幅広く日本の言語や文学・文化、歴史に興味や関心を持ち、国語科の基礎的学力を身に付けた学生を求めていることと、入学にあたっては、古典や漢文を含めた国語に習熟し、かつ、日本史や日本地理、東洋史についても基本的事項を学んでおく必要があることを、明示している。また、公募制推薦入試・一般選抜・社会人特別選抜・一般編入学試験という入試制度別に、求める学生像や評価のあり方、必要な学習内容を示している。

【点検・評価】必ず記入…効果が上がっている事項または、改善すべき事項のうち、どちらか記入(両方記入可)。

【成果および伸長方策】…現状説明の中から効果が上がっている事項を箇条書きで記入。

特筆すべき事項なし。

【課題および改善方策】…現状説明の中から改善すべき事項を箇条書きで記入。

特筆すべき事項なし。

【将来に向けた発展方策】…実行可能な方策が計画されている場合のみ具体的に記入。

【将来に向けた発展方策(伸長方策)】…点検・評価(効果が上がっている事項)に関連させ、今後の伸長方策を記入。

【将来に向けた発展方策(改善方策)】…点検・評価(改善すべき事項)に関連させ、今後の改善方策を記入。

② 学生の受け入れ方針に基づき、学生募集及び入学者選抜の制度や体制を適切に整備し、入学者選抜を公正に実施しているか。

【現状説明】必ず記入…設定した目標の進捗状況・評価の視点を含め、400字～500字(10行以内)で現状説明を記入。

・平成28(2016)・29(2017)年度入学の学生募集では、志願倍率7倍を維持しており、漸減の傾向にはあるものの一定の受験者数を確保している。入学者選抜は、指定校推薦入試、公募制推薦入試、一般選抜、社会人特別選抜、AO入試、一般編入学試験、推薦編入学試験があり、いずれも専攻の定めた入試科目や方法に従い、受け入れ方針に基づいて、公正かつ適切に行われている。

・今年度より、学生の能力を多面的に評価する、学科の特性に応じた選抜方法として、AO入試の導入を行った。

・募集前年度の4月に毎年、国文学科会議の中で、学生の受け入れ方針に基づき、国文学科の学生募集および入学者選抜方法について検討している。その中で、前年度の状況などを勘案しつつ一つ一つ検証し、必要に応じて変更・改善を加えることによって、一層公正かつ適切な学生募集・入学者選抜が行えるようにしている。また、入学者選抜あるいは入試採点の実施に当たっては、問題作成や面接、採点などの、国文学科所属教員が果たすべき役割について、配偶者の姉妹や娘、孫、姪が本学受験を予定している教員がいないかなど確認したうえで、各自の分担を事前に相談・決定し、関わり得る所属教員全員で取り組む体制をとっている。合格者判定においても、一般編入学試験や社会人特別選抜では、種々の事情を考慮しながら、教授会の前に国文学科会議において合否判定案を策定している。そのようにして、公正かつ適切に学生募集および入学者選抜が行えるよう、国文学科としても万全の体制で臨んでいる。

・入学定員超過率は、2016年度は1.18倍であったが、2017年度では1.02倍に適正化している。

【点検・評価】必ず記入…効果が上がっている事項または、改善すべき事項のうち、どちらか記入(両方記入可)。

【成果および伸長方策】…現状説明の中から効果が上がっている事項を箇条書きで記入。

・AO入試を導入した。その入試方法の一つは、専門科目に関わる授業を受けさせた上で、その内容に基づき受験生間でグループ・ディスカッションを行うというものであったが、その場で活発な議論が交わされた。入学者の今後の学業・学生生活を見守りつつ、従来の入試による選抜とは違った学生が加わることで、学科全体への異化作用に期待したい。

【課題および改善方策】…現状説明の中から改善すべき事項を箇条書きで記入。

【将来に向けた発展方策】…実行可能な方策が計画されている場合のみ具体的に記入。

【将来に向けた発展方策(伸長方策)】…点検・評価(効果が上がっている事項)に関連させ、今後の伸長方策を記入。

【将来に向けた発展方策(改善方策)】…点検・評価(改善すべき事項)に関連させ、今後の改善方策を記入。

③ 適切な定員を設定して学生の受け入れを行うとともに、在籍学生数を収容定員に基づき、適正に管理しているか。

【現状説明】必ず記入…設定した目標の進捗状況・評価の視点を含め、400字～500字(10行以内)で現状説明を記入。 ※個別の視点での記入は不要です。
【点検・評価】必ず記入…効果が上がっている事項または、改善すべき事項のうち、どちらか記入(両方記入可)。
【成果および伸長方策】…現状説明の中から効果が上がっている事項を箇条書きで記入。
【課題および改善方策】…現状説明の中から改善すべき事項を箇条書きで記入。
【将来に向けた発展方策】…実行可能な方策が計画されている場合のみ具体的に記入。
【将来に向けた発展方策(伸長方策)】…点検・評価(効果が上がっている事項)に関連させ、今後の伸長方策を記入。
【将来に向けた発展方策(改善方策)】…点検・評価(改善すべき事項)に関連させ、今後の改善方策を記入。

④ 学生の受け入れの適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。

【現状説明】必ず記入…設定した目標の進捗状況・評価の視点を含め、400字～500字(10行以内)で現状説明を記入。 ・学生募集および入学者選抜が、学生の受け入れ方針に基づいて公正かつ適切に実施されているかについては、毎年4月に次年度入試における学生募集および入学者選抜について検討しているため、その中で合わせて検証している。その他、学生募集および入学者選抜の実施に関することは、次年度入試について検討する際に、前年度入試におけるあり方が適当であったか否か、その都度検証している。今年度からのAO入試導入に当たり、その受け入れ方針と選抜方法に関して学科会議において検討を重ねる中で、他の形式の入試をも含めて、改めて検証を行った。
【点検・評価】必ず記入…効果が上がっている事項または、改善すべき事項のうち、どちらか記入(両方記入可)。
【成果および伸長方策】…現状説明の中から効果が上がっている事項を箇条書きで記入。 特筆すべき事項なし。
【課題および改善方策】…現状説明の中から改善すべき事項を箇条書きで記入。 特筆すべき事項なし。
【将来に向けた発展方策】…実行可能な方策が計画されている場合のみ具体的に記入。
【将来に向けた発展方策(伸長方策)】…点検・評価(効果が上がっている事項)に関連させ、今後の伸長方策を記入。
【将来に向けた発展方策(改善方策)】…点検・評価(改善すべき事項)に関連させ、今後の改善方策を記入。

内部評価委員会からの評価結果(内部評価結果レポート)

一般的なコメント(総評) 問題点が的確に認識されて、改善に向けて適切な対応がなされていると評価できます。
改善勧告コメント(点検単位からの意見を求めるもの)

内部評価結果レポートの改善勧告コメントに対する点検単位の意見

意見

◆点検シート(新基準)

評価基準	6 教員・教員組織	点検単位	文学部 国文学科
点検・評価 年度	2018年度(対象:2017年度)		

① 大学の理念・目的に基づき、大学として求める教員像や各学部・研究科等の教員組織の編制に関する方針を明示しているか。

【現状説明】必ず記入…設定した目標の進捗状況・評価の視点を含め、400字～500字(10行以内)で現状説明を記入。 ・大学として求める教員像は「京都女子大学教員資格審査規程」「京都女子大学大学院研究科担当教員選考内規」等に明記されており、また「大学の求める教員像および教員組織の編制方針」として大学ホームページでも公表される予定である。本学科では、「学位授与の方針」、「教育課程編成・実施の方針」に基づく教育内容および研究対象領域を踏まえて教員像を明確にし、教員組織は教育課程および研究領域を踏まえてその編制方針を定め、教員人事(採用・昇格)に当たっている。具体的には、学科会議で策定した公募採用人事案を、全学の人事委員会に提案し、審議・了承を得ている。
【点検・評価】必ず記入…効果が上がっている事項または、改善すべき事項のうち、どちらか記入(両方記入可)。
【成果および伸長方策】…現状説明の中から効果が上がっている事項を箇条書きで記入。 特筆すべき事項なし。
【課題および改善方策】…現状説明の中から改善すべき事項を箇条書きで記入。 本学科の教員編成の方針についての整理・明文化を検討する。
【将来に向けた発展方策】…実行可能な方策が計画されている場合のみ具体的に記入。
【将来に向けた発展方策(伸長方策)】…点検・評価(効果が上がっている事項)に関連させ、今後の伸長方策を記入。
【将来に向けた発展方策(改善方策)】…点検・評価(改善すべき事項)に関連させ、今後の改善方策を記入。

② 教員組織の編制に関する方針に基づき、教育研究活動を展開するため、適切に教員組織を編制しているか。

【現状説明】必ず記入…設定した目標の進捗状況・評価の視点を含め、400字～500字(10行以内)で現状説明を記入。 ・本学科の平成29(2017)年度における教員数は13名、年齢構成は、60代3名、50代3名、40代4名、30代3名で、男女比は男性8/女性5、教授9名、准教授1名、講師3名という構成である。専任教員一人あたりの学生数は45.3人(在籍学生数ベース)である。外国人教員は所属していない。担当コマ数の平均は、5.1コマとなっている。うち、5名は共通科目の担当も行っている。 ・学科としてのカリキュラム・ポリシーを踏まえ、国文学領域、国語学領域、漢文学領域で構成される教育課程・開講科目に対し、上代文学1名、中古文学1名、中世文学2名、近世文学2名、近代文学2名、漢文学1名、国語学2名、仏教学1名というように幅広い分野・時代に亘る教員を配置しており、担当科目と各研究分野が整合するものとなっている。教員組織とそれぞれの研究分野については、「大学案内」や「大学ホームページ」に公表されている。
【点検・評価】必ず記入…効果が上がっている事項または、改善すべき事項のうち、どちらか記入(両方記入可)。
【成果および伸長方策】…現状説明の中から効果が上がっている事項を箇条書きで記入。 ・年齢30代の講師が増え、年齢構成としてバランスがとれた形になった。
【課題および改善方策】…現状説明の中から改善すべき事項を箇条書きで記入。
【将来に向けた発展方策】…実行可能な方策が計画されている場合のみ具体的に記入。
【将来に向けた発展方策(伸長方策)】…点検・評価(効果が上がっている事項)に関連させ、今後の伸長方策を記入。
【将来に向けた発展方策(改善方策)】…点検・評価(改善すべき事項)に関連させ、今後の改善方策を記入。

③ 教員の募集、採用、昇任等を適切に行っているか。

【現状説明】必ず記入…設定した目標の進捗状況・評価の視点を含め、400字～500字(10行以内)で現状説明を記入。 ・教員の募集・採用・昇格に関しては、「京都女子大学教員資格審査規程」および「内規」に基準が明文化されており、本学部においてこれらに則って教員人事の審査がなされている。なお、平成29年度(2017)には専任教員各1名(教授)の採用を行った。
【点検・評価】必ず記入…効果が上がっている事項または、改善すべき事項のうち、どちらか記入(両方記入可)。 【成果および伸長方策】…現状説明の中から効果が上がっている事項を箇条書きで記入。 特筆すべき事項なし。
【課題および改善方策】…現状説明の中から改善すべき事項を箇条書きで記入。 特筆すべき事項なし。
【将来に向けた発展方策】…実行可能な方策が計画されている場合のみ具体的に記入。 【将来に向けた発展方策(伸長方策)】…点検・評価(効果が上がっている事項)に関連させ、今後の伸長方策を記入。
【将来に向けた発展方策(改善方策)】…点検・評価(改善すべき事項)に関連させ、今後の改善方策を記入。

④ 教員の資質の向上を図るための方策を組織的かつ多面的に実施し、教員及び教員組織の改善につなげているか。

【現状説明】必ず記入…設定した目標の進捗状況・評価の視点を含め、400字～500字(10行以内)で現状説明を記入。 ・教育活動(授業の分かりやすさ、履修指導、学生の意見のフィードバック等)に対する学生の満足度については、「授業アンケート」や「学生生活実態調査」を基に、学科内FD活動として学科会議で検証している。 ・1回生対象の「入門演習」、2回生対象の「基礎演習」の授業内容・方法、成績評価の方法について毎年度末、学科会議にて協議している。 ・教員の研究活動については、教員業績データベースへの入力を行っている。 ・教育の基盤となる研究の活性化を図るべく、京都女子大学国文学会の機関誌『女子大國文』を年2回刊行しており、所属教員に投稿を呼びかけている。また、投稿論文については、所属教員から選ばれた委員による編集委員会にて厳正に審査し、審査結果を委員会にて協議し、採否を決定している。 ・平成28(2016)年度からは「京都女子大学教員業績評価に関する規程」に基づき、前年度業績の評価を行い、学部長・学長による評価を受けて改善活動等に取り組んでいる。
【点検・評価】必ず記入…効果が上がっている事項または、改善すべき事項のうち、どちらか記入(両方記入可)。 【成果および伸長方策】…現状説明の中から効果が上がっている事項を箇条書きで記入。 特筆すべき事項なし。
【課題および改善方策】…現状説明の中から改善すべき事項を箇条書きで記入。 特筆すべき事項なし。
【将来に向けた発展方策】…実行可能な方策が計画されている場合のみ具体的に記入。 【将来に向けた発展方策(伸長方策)】…点検・評価(効果が上がっている事項)に関連させ、今後の伸長方策を記入。
【将来に向けた発展方策(改善方策)】…点検・評価(改善すべき事項)に関連させ、今後の改善方策を記入。

⑤ 教員組織の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。

【現状説明】必ず記入…設定した目標の進捗状況・評価の視点を含め、400字～500字(10行以内)で現状説明を記入。 ・国文学科では、毎年実施する自己点検・評価のほかに、学科会議において、カリキュラムの検討に合わせて、教員組織の適切性について点検・評価を行っている。その結果も踏まえて、公募による採用人事案を、学科会議において策定し、全学の人事委員会に提案をしている。 ・以上に基づき、平成28年度末を以ての退職教員のあとを受けかたちで、平成29年度には、教授一人を新規採用した。
--

【点検・評価】必ず記入…効果が上がっている事項または、改善すべき事項のうち、どちらか記入(両方記入可)。
【成果および伸長方策】…現状説明の中から効果が上がっている事項を箇条書きで記入。 特筆すべき事項なし。
【課題および改善方策】…現状説明の中から改善すべき事項を箇条書きで記入。 特筆すべき事項なし。
【将来に向けた発展方策】…実行可能な方策が計画されている場合のみ具体的に記入。
【将来に向けた発展方策(伸長方策)】…点検・評価(効果が上がっている事項)に関連させ、今後の伸長方策を記入。
【将来に向けた発展方策(改善方策)】…点検・評価(改善すべき事項)に関連させ、今後の改善方策を記入。

内部評価委員会からの評価結果(内部評価結果レポート)

一般的なコメント(総評)
課題が的確に認識されて、改善に向けた対応が適切に行われているものと評価します。
改善勧告コメント(点検単位からの意見を求めるもの)

内部評価結果レポートの改善勧告コメントに対する点検単位の意見

意見
